

くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 83

久米南町議会だより 令和5年9月議会



一般質問

町政を問う

南 直樹 P 3

1. 消防団の操法練習場について
2. マイナンバーカードについて
3. 空き家対策について
4. ふるさと納税について

近藤賢司 P 4

- ★ 1. 公園機能の充実に向けて
- 2. 小学校再編に伴う今後の動きについて
- 3. 部活動の地域移行について
- ★ 4. 町内で働く方々と仕事のマッチングについて
- ★ 5. カーボンニュートラルと耕作放棄地への取り組み
- ★ 6. 町おこしの構想について
- ★ 7. 災害に強いまちづくりについて

小坂 守 P 5

1. 教育環境について
- ★ 2. マイナンバーカードについて
- ★ 3. ふるさと納税について
4. 農業振興について

立石祐一 P 6

1. 第2次久米南町教育振興基本計画について
2. 新庁舎完成後のスケジュール及び町民へのお知らせ等

政廣幹夫 P 7

- ★ 1. 準要保護就学援助対象者基準の運用について
- ★ 2. 2学期に入り小中学校の不登校の状況は
- ★ 3. 小中一貫校は子どもにどのような変化を与えるか
- ★ 4. 3小跡地・地域振興を町はどうするか
- 5. プール問題に選択肢を用意して町民の意見を集約すべき
- ★ 6. 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」への対応

河原重義 P 8

1. 「全国植樹祭」の県内開催に伴う本町の取り組み、町内の森林保全及び活用、及び木育教育の導入・推進等について

光元一郎 P 9

1. 地方債について
2. 火葬場使用料補助金について
3. 上下水道について
4. 小中学校について

※ 議会だよりに掲載できなかった質問は★で表記しています。
※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。



質問 消防団の操法練習場等について

一般質問

南 直樹 議員

消防団の操法練習場について

問 練習場の確保、練習環境として適しているのか、消防団との協議後について。

総務企画課長 具体的な練習場の選定は決まってない。

来々年7月開催予定の岡山県消防操法大会出場予定の第1分団第1部は、町民運動公園多目的広場で練習を行う計画。放水を伴う操法の練習は、近隣の施設を借用することを考えており、町は当該施設を管理する自治体に、借用が可能となるよう協議を進めている。

また、大会へ出場する部の意向を踏まえ、必要な物資の整備に向けた支援を本定例会へ関連予算をお願いしている。

マイナンバーカードの発行状況について

問 マイナンバーカードの発行率・状況、紐付け誤り、確認状況等について。

税務住民課長 人口に対する申請件率は75・79%、保有枚数

率は68・7%。高齢化、理解が得られない、施設等入所の増加など、申請手続きが困難なことも増えている状況。

周知の徹底、申請サポート、休日交付の開設、出張サポートも行いながら申請の促進に努めたい。

紐付け誤りについては、省庁・各制度担当部署からの調査依頼があり、既に調査済み。点検対象には該当していない。

空き家対策について

問 実態は様々なケースがあると思うが、どのような分類で調査し、調査資料をどのように活用するのか、今後の事業方向についても伺いたい。

産業振興課長 調査は基礎データの更新を目的に実施をしている。利活用可能な空き家、危険な状態にある空き家も調査対象としている。

調査結果は空き家等対策計画の基礎資料として活用し、所有者への意向調査を行い、危険空

き家の除却支援や空き家バンク事業の促進等に活用する。また、自治会と連携し空き家マップをつくり、相続登記義務化や地域と空き家の関わり方など周知を図る予定。専門家による無料相談会の実施など予定している。ふるさと納税について

問 件数・金額とも昨年に比べ半減しているようだが、原因は把握されているのか。

産業振興課長 減少の原因は、本町返礼品の上位を占めるぶどう・桃が他自治体と競合していることが一つの要因と認識している。

今後は委託事業者と連携を図り、返礼品の課題、他自治体を調査し、魅力ある返礼品の掘り起こしに努め、有効な手段を研究したい。

「きれい」 トイレのね スリッパそろえ かんぺきだ 早瀬しゅり



小学校再編後の跡地利用と、 中学校部活動の地域移行について

質問

一般質問

近藤賢司 議員

「きれい」 思い出は つらいことも かがやくよ 大家 歩美

小学校再編に伴う今後の動きについて

問 町内3小学校の統合に伴う跡地利用について、地域への意見聴取は、いつからどのような形で行うのか。また新調や解体される場合の予算の枠組みも示されていないが、今後どのようにされるか。

教育長 跡地の利活用は当該地域における今後の地域活性化となる重要な施策となるため、当委員会のみならず、必要に応じて役場の体制を調整して、地域住民の声をお聴きしながら利活用していく。今後、役場内での組織体制の調整がなされていくと考えている。

問 3小学校の跡地を解体撤去する場合、かなりの予算が必要と聞いている。もし解体する場合、新小学校建設と併せて、交付税あるいは政府の補助金等が扱えるところはないのか。できるだけ早急に研究していただき、集約の期限を早められたい。

三小学校が統合されてからではなくて、今年度から意見を聞いていただき、それをまとめるような取り組みが望ましいのでは。要望を吸い上げるスケジュールと方法を早急に示していただきたい。

総務企画課長 国の財政的な

支援、あるいは補助金の類いになると思うが、メニュー的には現在、調査研究中で、申請の時期について再度確認をさせていただいている。申請の時期が間に合わず、当該支援も受けられなくなっても困る。その辺りも含めて、現在内部で調整をしている。公表ができる段階になった時や、取り急ぎしないといけないということになったら、日程を早めて機会を設けたい。

問 部活動の地域移行について

部活動の地域移行については、2023年度からできるところから行う方針で、取り組みが全国的に進みつつある。本町では今後どのような見通しで

取り組まれるのか。また、部活動を地域団体が受けるにあたり、スポーツ面、文化面でも、指導者の確保や受け皿体制が必要となると思われる。指導者や受け皿となる団体に対しての経済的支援も重要となってくるのではないかと考えるほか、①平日複数日の実施となると勤務の都合や時間等が壁となる。②指定された講習を受けて合格しなければならないスポーツ分野もある。など、課題に対する対応や支援を今後どうされるのか。

教育課長 部活動の地域移行

に向け、久米南町部活動検討委員会を年内設置を目指して現在準備をしている。今後設置する久米南町部活動検討委員会の中で熟議をし、検討していきたい。国や県、他の自治体の動向を注視し、先進地の事例など参考にしながら当町の実情に合った地域移行にしていきたい。

質問 教育環境と農業振興について



小坂 守 議員

一般質問

教育環境について

問 国のギガスクール構想に沿って、本町においても小中学校の全学年にICT機器を導入し、ほぼ一年が経過した。ICT機器を利用した学習は、どの程度進んでいるのか。

教育課長 令和3年度から一人一台端末を活用した授業を段階的に実施し、児童生徒が情報を検索したり、必要なことを撮影や文章入力し、記録を残すなどから始め、現在では児童生徒が各自で作成した文章にお互いにコメントをしたり、新聞や資料などを共同制作するなど、共同的な活動や、遠隔授業、アンケート調査、家庭学習に活用するなど、児童生徒の実態に応じた活用の幅を広げている。

問 デジタル教科書、ドリル教材などの導入状況を伺いたい。

教育課長 文部科学省は教科書改訂を契機としてデジタル教科書の本格導入を目指しており、現在はその実証実験、学びの保

障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業として全国の小中学校を対象としたデジタル教科書の無料配布が始まっている。中学校では英語と数学、誕生寺小学校では英語と算数、弓削、神目小学校では英語のみ導入している。今年度から三小中学校に町費で国語のデジタル教科書を導入している。

問 ICT支援員は一人で各学校を受け持っているのか。

教育課長 四校で一人配置している。ICT支援員は教育におけるICTの活用が進む学校において、その活用を支援する役割をもっており、主に授業支援、校務支援、機器やネットワークなどの環境支援、校内研修支援、などを行っている。

問 タブレット端末は先生方に対して一人一台支給されているのか。

教育課長 各学校で授業を担当する先生に対して一人一台の端末を支給している。

農業振興について

問 昨今、肥料・燃料等高騰しており、農業経営は非常に厳しい状況下にある。本町の農地を維持するために何か施策を考えているのか。

産業振興課長 支援策として中山間地域等直接支払交付金、多面的機能交付金、水田活用交付金など支援をしている。人農地プランの中で地域農業の中心経営体と位置付けられることにより、農業機械の更新や導入に係る国や県の補助事業の対象になり得、認定農業者であれば無利子の制度資金の利用も可能。また今年度から来年度にかけて人農地プランに替わる地域計画の策定を各地域にて行う。

問 本町の認定農業者数、集落営農組織数は。

産業振興課長 認定農業者数は50名、集落営農組織数は10組織で、そのうち2組織が法人・認定農業者である。

「きれい」 おほしさま いつもひかって きれいだな 杉本 まな



久米南町教育振興基本計画と 庁舎完成後の対応について

質問

一般質問

立石祐一 議員

「きれい」 友達の やさしい心 きれいだな 小林 姫華

町教育振興基本計画について

問 「郷土を愛する心」等に関して、小中学校での一貫した社会教育プログラムの構築と、社会教育主事等の体制強化、また転出抑制及び転入促進についてSDGsを組み合わせた久米南町コミュニティスクールの醸成について問う。

教育長 社会教育主事等の体制強化について、現在当委員会には専門的な職員の発令はしていないが、民間の社会教育士としての有資格者を活用することも有効な施策と考えている。SDGsを組み合わせたコミュニティスクールの醸成について、本年度小学校にはコミュニティスクールマイスターを講師とし、中学校には、先進的に地域に開かれた学校づくりに取り組んできた元校長を講師として招聘し、教職員の啓発研修を開催。2学期以降に、小中学校管理職及び教職員の代表者を対象に先進地への視察を計画。コミュニティ

スクールと地域学校協働活動の一体的推進も視野に入れ、開校準備委員会の専門部会で検討する。

SDGsを推進した教育

問 SDGsを推進した教育の形をしっかりと実現していただきたい。SDGsの実現を待つ未来、バックキャストイングの手法は、目標とする未来の姿を描くことで、今何をすべきかを考える思考方法で、現状にとられない発想が生まれやすく、不確実性の高いテーマや課題に対して具体策を考えるのに有効と解釈されている。久米南町のコミュニティスクールをそのように考えるならば、「久米南町で子どもを学ばせたい」と思えるような未来の姿を描くことも必要と考える。久米南町独自のSDGsを取り入れたコミュニティスクールに向けしっかりと検討してもらいたい。

新庁舎完成後の対応について

問 新庁舎完成後の移転スケジュールや、新庁舎内での窓口

業務等、旧庁舎と比較して、手続き方法等の変更点をいつ町民へお知らせするか伺う。また今後は旧庁舎を解体する予定であるが新庁舎近くに一時的にも子ども連れの親御さんや高齢の方等が駐車可能なスペースを設ける予定があるか。

総務企画課長

移転スケジュールは、11月20日迄の工期とし、8月現在で94%の進捗率。具体的なスケジュールは非公表であるが、庁内で協議し、町内の方

向けの内覧会や落成式を検討中。年明けの供用開始に向け、準備を行いたい。窓口業務については、1階部分に町長部局を集約し、可能な限りワンストップサービスとなるようサービス向上に努めたい。現庁舎の解体撤去工事期間中は、新庁舎南側の職員専用駐車場を来庁者等の駐車場とすることを想定している。詳細については、広報等で町内の皆様に周知する。

質問 プール問題をどうするか



政廣幹夫 議員

一般質問

選択肢を用意し町民の意見を集約すべき

問 片山町長はプール問題で平成27年6月議会で当時の町長に問われた。そういうプール問題の見識をもって町長になった。学校プールは当時言っていなかった。運動公園だけでも、見識をお話しされたい。

町長 その通りで、町民運動公園のプールは、議員の時に質問した覚えがある。フットサル場をやったら丁度规格的に合うという話もした覚えもある。それは実現しなかったが、現在の3小学校のプール、中学校を含めると4つ。できてから年数も経っている。色んな機械も駄目になってきているんじゃないか。今頃は、津山市のグラスハウスの、学校の子どもさんたちがそこに行っってプールを利用できるようだ。本町の近くでも建部に民間がやっているプールがあり、そこは温水プールもあり、そういうことになれば、例えば夏の

時期だけのプールじゃなくて、プールの授業も年間を通して子どもたちを分け、同時じゃなくても分けながらも利用できると思っっている。昨日だったか、AIの考え方を、たまたまちょっとやってみたら、4つほどプールの利活用の事例が出た。まず1つは、その地元の方々にプールを畑に変えて使っってもらおうと。自分たちで野菜なんかをつくってもらいなから取り組む事例。

それからもう1つは、非常に参考になるといっうか、なるほど、こっういっう使っい方もあるんだな、それを丸々鵜呑みにするんじゃないくて、こっういっう使っい方もあるんだな、とこっういっうのが結構出てきた。イベント会場に使っいのもあり、建物をその上に建てて、アートの関係でこっういっう芸術的なこっうとを取り組んだらこっうかとか、色んな取り組みがあるが、とりあえずは今のまま残すといっうよりは活用するか、もうあっのプールは使用しないで、どこかです

とまっって授業をするといっう形のほうか、将来的にはベストじゃないかなといっうふうには考えていっうところ。それで教育委員会にも、ご意見も聞いていただければといっうふうに思っう。

問 この前代わっったばっっかりで、問題も事情もよくわからん教育長にそんなこっうを聞くといっうのは、無理じゃないですか。

それと、片山町長は学校の廃校、3校の大きな問題を住民の意見をまっず聞いてからじゃなかったら判断できん、選択肢も示せれんと、言っっているのに、プールの問題になったら、AIで聞いたとペラペラ喋られるが、私は町長としての考え方を聞いていっう。そんなAIが考えた話をするんだったら、もう町長そのものを、久米南町はAIに置き換えたら良い。

その程度のことしか喋らんだったら。もうちょっと、しゃんとしてほっしい。

「にぎやか」

ぼくのうち

六人かぞく

うるさいよ

片山琥太郎

質問 全国植樹祭等への対応について



河原重義 議員

一般質問

「にぎやか」 にぎやかだ まつりだまつり たのしいな 松ノ下 惺

問 第74回全国植樹祭が来年5月に開催される。県内開催は57年ぶり。植樹祭を盛り上げるために各自治体では様々なイベントの開催が予定されている。本町ではどういった取り組みを計画しているか。

産業振興課長 豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるため毎年開催されている。8月には真庭市を皮切りにシンボルの木製地球儀の巡回がスタートし、本町には9月20日から24日まで展示する。また、県下各市町村にて記念植樹などが行われており、来年3月までに久米南町でも計画している。

問 今年のような気候変動による酷暑は、無計画な森林伐採や人類の営みの変化が影響しているのではないか。カーボンニュートラルが急務の中、植樹祭を契機として、自然・山林の持つ力に目を向け、持続可能な社会を考えていく必要がある。改めて、

里山の保全、山林の適正な管理施策について町長の考えを聞く。

町長 本町の林業に関しては、民有人工林が県北の市町村と比較して極めて少なく、林業従事者の数も年々減少してきている。このような状況下ではあるが、森林経営管理制度に森林環境譲与税を活用し取り組んでいる。今後、林業経営に向けた森林と向かない森林を分類し、木材生産や間伐を実施していく。

問 林業経営者の減少・高齢化も進んできている。こういった中においても多様な樹木の植林もしっかり進めていくことは大事だ。

教育長に聞く。子供たちへの自然や山との関わり方は、成長において重要なことと考える。木育の「かきくけこ」について、知っているか。

教育長 木育の「かきくけこ」、環境を守る、木の文化を伝える、暮らしに木を取り入れる、経済を活性化させる、子供の心を活

性化させる。以上の5つである。**問** この言葉は子供らだけが対象ではなく、生活している人すべての方々にも考えてもらいたいと思う。現在、本町では、学校統合の事業が進んでいるが、統合後の学校教育の中に、木育教育の導入を検討してもらえないか。

教育長 木育により木に親しむ人間形成の重要性も専門分野の方々から指摘されている。木についての様々な体験は感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する理解や基盤を育み、久米南町では、木育に特化した教育を進めてはいるが、木に親しむことについて、様々な場面で意図的に取り組んでいる。**問** 植樹祭を契機として、里山を愛する、郷土愛を醸成するそういった教育、また、町民の皆さんに里山を顧みてもらえよう取り組んでもらいたい。

質問 地方債その他



光元一郎 議員

一般質問

地方債（町の借金）について

問 決算概要によると地方債残高が約33億円、そのうち全額が交付税措置されるものが約13億円で、残りの20億円についても交付税算入されるものもある。実際の金額はいくらになるか。企業でも団体でも個人でも、決算書には、貯金がいくらで借金がいくらと記載されるが、町の決算書には、基金（貯金）の残高は記載があるが、地方債については記載がないのは片手落ちではないか。特別会計も同様である。決算書には基金と合わせて地方債の残高も記載してほしい。

総務企画課長 本町が地方債を発行するときは可能な限り地方交付税措置のあるものとし、後年の財政負担の軽減を図ることとしており、基準財政需要額算入見込額を差し引くと約10億7千万円となる。

火葬場使用料補助金について

問 令和4年度に火葬場使用料補助金は312万円が支出されており、町外の方への支出があると思うが、どう考えるか。久米南町のお金で育ててもらって、教育も受け、就職をして税金は町外に。そして高齢となった親の世話も久米南町で、最後に亡くなったら火葬場の使用料もくささいでは納得できない。

税務住民課長・町長 令和4年度の補助金は町内64・4%、町外35・6%となっている。補助対象者への住所要件等は規定しておらず、県内の同様の補助金を交付している自治体も同様の規定となっている。

上下水道について

問 上下水道の会計が公会計に変わっていくが、その中で、未納金について、企業の倒産でとか、死亡されて相続する者がいないとかで、絶対に回収不能もあると思う。公会計移行前に損金処理したらどうか。回収不

能の金額でも会計上は資産として残り、決算にも響くこととなるので、しっかりとした基準を決めて、処分すべきものは処分してもらいたい。

上下水道課長 公営企業会計は令和6年4月移行に向けて準備をしており、水道料金については、今年度中に議会の議決をいただき、債権放棄をした後、不能欠損処理を予定している。下水については公債権であり、地方自治法による不能欠損となる。

小中学校について

問 不登校については7番議員が質問し回答があったので省略して、いじめの実態があれば報告してほしい。不登校につながったり、転校した事例もあるので、しっかりとした対応を要望する。

教育課長 解決した事案もあるが、現在見守り中の事案もある。重要な課題として取り組んでいく。

「にぎやか」

食べすぎて

おなかのなか

にぎやかだ

安達

啓悟

学校給食費の無償化を求める要望書を提出

8月29日開催の総務文教常任委員会及び9月5日開催の議会全員協議会において協議を行い、学校給食費の無償化に対する意見をとりまとめ、9月21日に無償化に必要な予算の確保、条例等の整備を町長に要望しました。



要望書を提出

監査委員研修

町村監査委員全国研修会が10月24日から2日間、東京のLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で開催され、



会場にて

森崎監査委員と光元監査委員が参加。「町村における内部統制、監査の基本的な事務手続、住民監査請求の対応などについて大学教授や公認会計士、弁護士、義を聴き、あらためて監査業務についての理解を深めました。

議会だよりのデザインを刷新しました

議会だよりについて、皆様により身近に感じていただけるようにデザインを刷新いたしました。次の世代につなげていくことを目標とし、様々な時代の変化と多様性を合わせながら久米南町議会を活性化させていくために、皆様と『つながる議会』を目指してまいります。議会だよりを一度でも手に取っていただき久米南町議会を知っていただければ幸いです。

議会広報編集委員長
立石 祐一

編集後記

秋麗の候となり、紅葉の季節がすぐそこまでやってきています。その中で、議会だよりの第83号の発行となりました。この度の発行につきましては、これまでの体裁をがらりと変え、より親しみやすく、読みやすい広報紙にしようと広報委員会メンバーで話し合い意気込んで作成致しました。町民の皆様には、町議会を「身近」に感じていただき、より多くの関心をいただきたく議員一同祈念しているところでございます。また、地域の方々の生活をより豊かにしていくために、様々な視点から議会の活性化を果たしていきたいと考えております。どうぞ、今後ともこの広報紙をお読みいただき、感じたことやご意見、ご要望等をお伝えいただければ幸いです。最後にありますが、町民の皆様のご健康とご多幸を祈念しつつ編集後記と致します。（近藤 賢司）

議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だよりの第83号（令和5年11月15日発行）

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 TEL 086-728-2122

